

# 芸術科「書道Ⅰ」シラバス

書道Ⅰ	単位数	2単位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年 1～10組

## 1 学習の目標

学習の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	東京書籍「書道Ⅰ」

## 2 評価の観点、評価規準

### A 表現

書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加状況</li> <li>・「学習記録」の記入状況</li> <li>・作品</li> <li>・提出作品 ・定期考査</li> </ul>
書表現の構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品</li> <li>・「学習記録」の記入状況</li> </ul>
創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけて表している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品 ・作品</li> <li>・「学習記録」の記入状況</li> </ul>

### B 鑑賞

書への関心・意欲・態度	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について関心をもち、書のよさや美しさを感じ取り、主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加状況</li> <li>・「学習記録」の記入状況</li> <li>・作品</li> <li>・提出作品 ・定期考査</li> </ul>
鑑賞の能力	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・「学習記録」の記入状況</li> </ul>

## 3 学習計画

### (1) 年間指導計画案

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科書頁	配当 時数	学習活動
四月	書写から書道へ	1 書写の確認 ・楷書の基本 ・行書の基本	2～4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名について学習する。</li> <li>・中学校書写で学習したことの確認として、行書と行書に調和する仮名について学習する。</li> <li>・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。</li> <li>・書く姿勢、腕の構え方、筆の持ち方について、いろいろな方法があることを理解する。</li> <li>・落款の意味や、その種類などについて理解する。</li> </ul>
		2 用具・用材 ・文房四宝	5～7	1	
		3 姿勢・執筆法 ・いろいろな姿勢 ・執筆法	8～9		
		コラム：落款を学ぼう	10		
五月	漢字の書	1 漢字の書を学ぶ ・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習 【臨書】	12～14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の成立と変遷について理解する。</li> <li>・臨書の意味や方法を理解し、関連する書道用語について学習する。</li> <li>・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。</li> <li>・楷書の成立について理解し、唐の四大家の書風をはじめ、さまざまな書風の楷書があることについて理解を深める。</li> <li>・「九成宮醴泉銘」の特徴を理解する。</li> <li>・「孔子廟堂碑」の特徴を理解する。</li> <li>・両者を比較し、字形や用筆法の共通点と相違点について考える。</li> </ul>
		2 楷書 ・楷書の用筆法・結構法	15		
		・楷書の成立と唐の四大家 ・楷書の比較	16～17 18～19	2	

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動
六月		臨書・鑑賞 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身 ・牛橛造像記 ・鄭義下碑 ◆チャレンジ ・隅寺心経	20～31	10	・楷書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物」なども活用する。 ・楷書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて注意して臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。 ・楷書の古典を鑑賞する意義について理解する。 ◆チャレンジ ・楷書小字としての写経について理解を深め、最後まで書きあげること達成感を味わう。
		3 行書 ・行書の特徴	32	1	・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・行書の特徴を理解する。
	七月	臨書・鑑賞 ・蘭亭序（神龍半印本） ◆チャレンジ ・次の語句で学びましよう。 臨書・鑑賞 ・争坐位文稿 ・風信帖（第一通） ◆チャレンジ ・李嶠詩殘卷 ・伊都内親王願文	33～47	6	・行書の古典を臨書する意義について理解する。 ※「人物」なども活用する。 ・中国や日本の行書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方を学び、それぞれの書風の違いに注意して臨書する。 ※「字形と筆順」なども活用する。 ・教材に真跡と拓本があることに注意しながら、行書の古典を鑑賞する意義について理解する。 ◆チャレンジ ・教科書に載っている文言を参考に、「蘭亭序」を全臨したり、短い言葉を書いたりして、行書の学習を深める。 ・三筆の嵯峨天皇と橘逸勢の書について臨書・鑑賞し、その用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。
九月	漢字の書	4 草書 ・草書の成立と特徴	48	1	・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。
		臨書・鑑賞 ・真草千字文	49	2	・「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方を理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞する。
		5 隸書 ・隸書の成立と特徴	50	1	・隸書が成立する過程や隸書の特徴について理解する。
		臨書・鑑賞 ・曹全碑 ◆チャレンジ ・乙瑛碑 ・居延漢簡	51～53	3	・「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方を理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞する。 ◆チャレンジ ・「乙瑛碑」「居延漢簡」を臨書・鑑賞し、その用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。
		6 篆書 ・篆書の成立と特徴	54	1	・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。
		臨書・鑑賞 ・泰山刻石	55	1	・「泰山刻石」の臨書を通して、篆書の用筆、運筆、字形の取り方を理解する。 ・「泰山刻石」を鑑賞する。
十月	仮名の書	創作の手順 ・古典の特徴や技法を生かして 創作参考作品 コラム:鑑賞会をしよう	56～59 60	3	・創作の手順に従い、漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。 ・鑑賞カードをもとに、互いの作品を見せ合い、認め合う。
		1 仮名の成立 ・仮名の種類 ・現在の仮名の種類 ・仮名の美	62～63	1	・仮名が成立する過程や仮名の種類などについて理解する。
		2 仮名の用具・用材 ・用具・用材の種類	64	1	・仮名の用具・用材と、それぞれの特徴について理解する。
		3 仮名の筆使い ・いろいろな線	65	1	・仮名の基本的な線、運筆について理解し、練習する。

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	担当 時数	学習活動
十一月		4 平仮名の単体 ・古典から集字した平仮名	66～67	4	・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・仮名を書く際の特徴である連綿について理解し、練習する。
		5 連綿 ・連綿の分類	68～69		
十一月	仮名の書	6 変体仮名 ・平仮名と変体仮名	70～71	1	・変体仮名について理解し、練習する。 ・行書きの構成について理解し、練習する。 ・散らし書きの構成について理解し、練習する。
		7 全体の構成 ・行書きからの展開 ・散らし書き	72～73		
		臨書・鑑賞 ・蓬萊切 ・高野切第三種 ・高野切第一種 ・関戸本古今和歌集 ◆チャレンジ ・中務集	74～81		
十二月		創作の手順 ・古典を生かして 創作参考作品	82～84	3	・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。
一月	漢字仮名交じりの書	1 いろいろな線による表現の広がり ・表現の比較	86～87	1	・文字を正しく整えて書く学習活動から、起筆の穂先の向きによって、さまざまな線の表現ができることを理解する。
		2 線質の調和による表現 ・表現の比較	88～89	1	・さまざまな線で楷書と平仮名・片仮名の調和を試みる。 ・さまざまな線で行書と平仮名の調和を試みる。
		3 用具・用材による表現 ・紙・墨・筆の比較	90～91	1	・紙や墨、筆の種類によって、表現に変化をつけられることを理解する。また、用具・用材の組み合わせによっても、表現の幅が広がることを理解する。 ・自分の表現意図に合った効果的な表現方法を模索する。
		4 紙面構成のバリエーション ・文字の大きさと全体構成①（縦書き） ・文字の大きさと全体構成②（横書き）	92～95	1	・縦書きや横書きにおける紙面構成がいろいろあることを理解し、構成により作品の効果に違いが出ることを知る。 ・さまざまな紙面構成を試みる。
		5 古典を生かした創作 ・「漢字の書」と「仮名の書」	96～97	1	・書道 I で学習する漢字や仮名の古典を参考にして、創作する。
		創作の手順 ・自分で選んだ言葉や詩文で 創作参考作品	98～101	3	・創作の手順に従い、自分で選んだ言葉や詩文で創作する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。
二月					

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科 書頁	配当 時数	学習活動
二 月	漢字 仮名 交じり の書	6 生活の中の書 ・封筒・はがき、便箋の 書式 ・年賀状、カードなどの 書き方 ・贈答用語の書き方  文字の表情を楽しもう	102～107	1	・封筒・はがき・便箋の書式を理解し、自分の創意を生かして書く。 ・年賀状、カードなどの書き方を理解して書く。 ・贈答用の用語の書き方を理解して書く。 ・生活の中の書を探し、その特徴や印象について話し合う。
	篆刻 と 刻 字	1 篆刻 創作の手順 創作参考作品  2 刻字 創作の手順 創作参考作品	108～111	4	・篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。
三 月	資料	コラム:いろは歌を鑑賞 しよう	112～113	4	・刻字の用具・用材や創作の手順について理解し、刻字の仕方について学習する。 ・創作参考作品を鑑賞し、感想を述べ合う。
			114		・いろは歌の歴史について理解し、さまざまな形式で書かれたものを鑑賞する。
				70 時間	

評価 方法	<p>評価は具体的に次のものを対象にする。</p> <p>① 提出作品・・・漢字仮名交じりの書においては意図した表現に近づくことが出来たか、漢字の書・仮名の書（臨書）においては対象となる古典の特徴を表現できたかが評価の基準になる。</p> <p>② 作品の構想や感想・評価などを記した「創作カード」「鑑賞カード」・・・自分の制作過程や感想文、自己評価などの充実。</p> <p>③ 学習活動への参加状況・・・用具用材の扱い（準備や片付け）、学習態度、意見発表等。</p> <p>④ 定期考査</p> <p>1年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。</p>
----------	---

#### 4 補足

確かな学力を身につけるための アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の学習においてはまずよく見るのが大切です。自らの感性にもとづき、対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。</li> <li>・技法の習得は主として古典の臨書によりますが、ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚、1字1字について自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習することが大切です。そのために「学習記録」はていねいに書きましょう。</li> <li>・制作については「今、自分は何を表現したいか」を大切に、詩文や用具などを積極的に選択していきましょう。</li> </ul>
授業を受けるにあたって守って ほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業はチャイムと同時に始まりますので、用具を準備し着席を完了させて下さい。</li> <li>・用具は大切に扱い、特に、筆と硯はきれいに洗いましょう。</li> </ul>